

4 プチ講評～おわりに

東畑建築事務所 高木さん



- ・4つの案には多くの共通点が多いことに驚きました。
- ・どの班も、単に配置するだけでなく、ストーリーが配置やゾーニングにつながっていると感じました。
- ・小さい敷地であることを逆にとりプラスに考えているという意図が感じられ、魅力にあふれていました。
- ・学年の隔たりをなくするという視点、地域の人とつながるという視点、自在に可変するアイデアなど、新しい学校をつくるんだということが絵に表れていてよかったと思います。

・周辺への配慮もしっかりあって、学校への愛着にあふれた提案でした。

・今後、できることとできないことをしっかり吟味して、今回出された豊かな発想を、設計にしっかりとつなげていきたいと思っています。

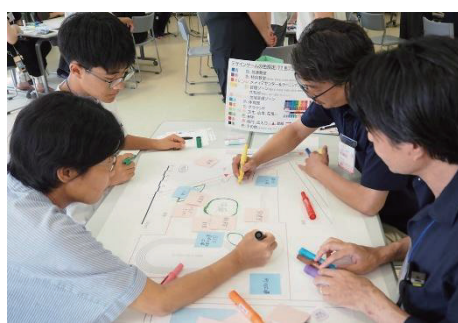
・地域のみなさん、設計者、行政が一緒になって学校をつくることの価値を、今回のワークショップで共感していただけたのではないかな。これからも、学校づくりにとどまらず、まちづくりにもつながる新しい学校を、みんなで一緒につくりたいと思います。

今日はみなさんの「想いをカタチ」にさせていただきました。

今日みなさんからいただいたヒントをもとに、できるところできないところを吟味して、第三回の検討委員会で、基本コンセプトと整備方針をまとめていきたいと思っています。



橋本市教育委員会
岡教育部長



感想カードより 三回すべてで思ったのは、げんえき中学生のいけんはとてもきょうなんだと感じました。1回目よりたのしくかんじて、地域のためにすると、ほこらしく思えました／3回来させてもらい、自分たちで作っていきんだなあ。いい出会い、いい経験をさせていただき感謝です／小さなしき地でも、工夫をすればたくさんの教室や広場をつくることできる／各チーム 共通点が多いことに驚きました。自由な発想で大変有意義な会になりました など

橋本市教育委員会 教育総務課
☎ 0736-33-1119 (直通)
✉ edusomu@city.hashimoto.lg.jp

設計・ワークショップ運営チーム
(株) 東畑建築事務所、まち楽房有限会社

高野口中学校移転改築に伴う
地域ワークショップ2026

みんなでつくる
高野口中学校
【地域ワークショップ】

NEWS LETTER ③

第3回：「地域とともに育つ学校デザインゲーム」



1 はじめに

橋本市教育委員会 今田教育長のあいさつのあと、これまでの経過や、今後のスケジュールについて、から説明がありました。

並行して行っている検討委員会に、みなさまの意見を提案させていただき「みんなでつくる高野口中学校」につなげていきたいと思っております。



基本計画スケジュール

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
基本計画								
1st STEP			2nd STEP					
敷地選定			コンセプト・整備方針					
検討委員会 ① ② ③			検討委員会 ① ② ③ 地域ワークショップ ① ② ③ 学校ワークショップ ① ②					

2 妄想絵カード DE 自己紹介 (ときほぐし)

「こんな高野口中学校になったらいいな」の妄想を1人1枚が1枚の絵に描いたあと、タイトルをつけ、グループ内で紹介し合いました。



3 プチレク「あたらしい高野口中学校って？」

設計チームより、敷地の状況や、配置計画・ゾーニングを考える際のポイントを聞きました。

敷地の状況：旧応其中学校跡地



1. まわりとの関係

- ・周囲の道路や住宅との関係・敷地の高低差は？
- ・出入口をどこにする？
- ・周囲から学校の見え方・学校から景色の見え方は？

2. スケール感

- ・細かな部屋割りを決めるのではなく、おおまかなサイズ感をつかみながら考える。

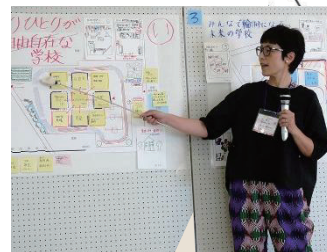
3. 学校の中心に何を置くか？

- ・どんな配置・ゾーニングだとワクワクする？

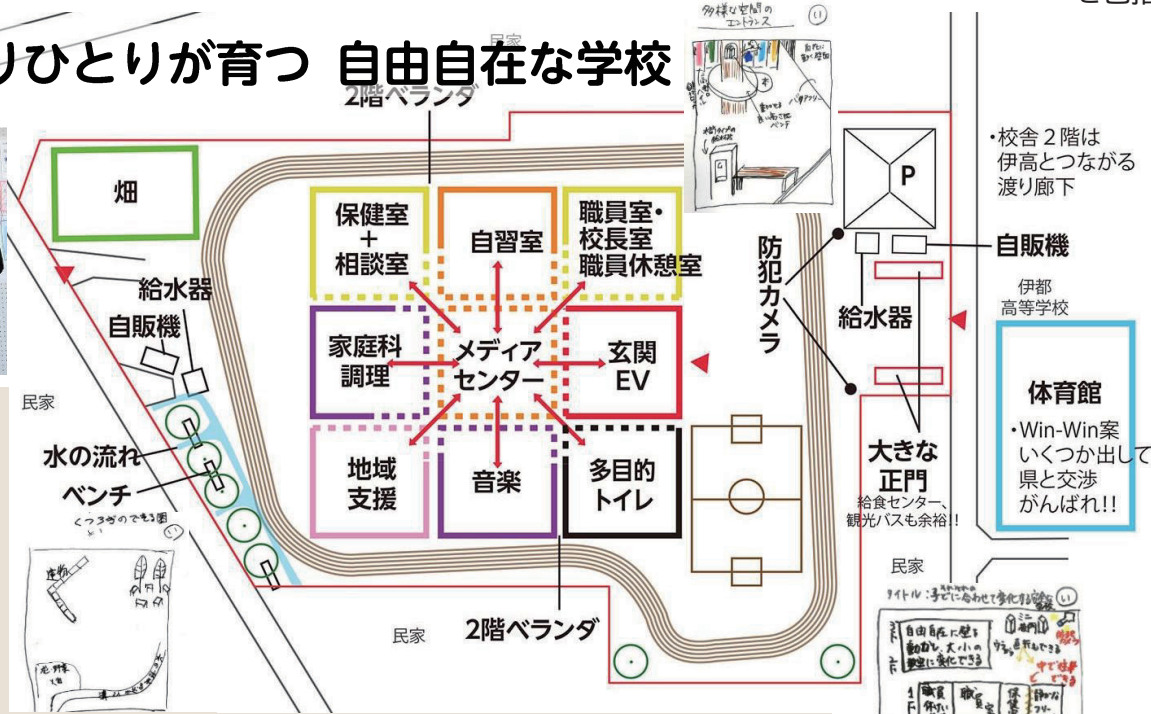
3 グループワーク「想いをカタチに！デザインゲーム」

「何を一番大切にするか」を話し合ったあと、使い方、動線、つながりなどを考え、配置を色指定に沿ってシートにまとめたあと、最後にタイトルをつけて発表・共有しました。

いグループ ひとりひとりが育つ 自由自在な学校



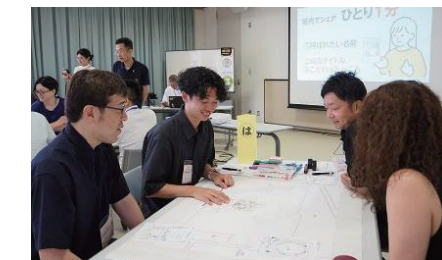
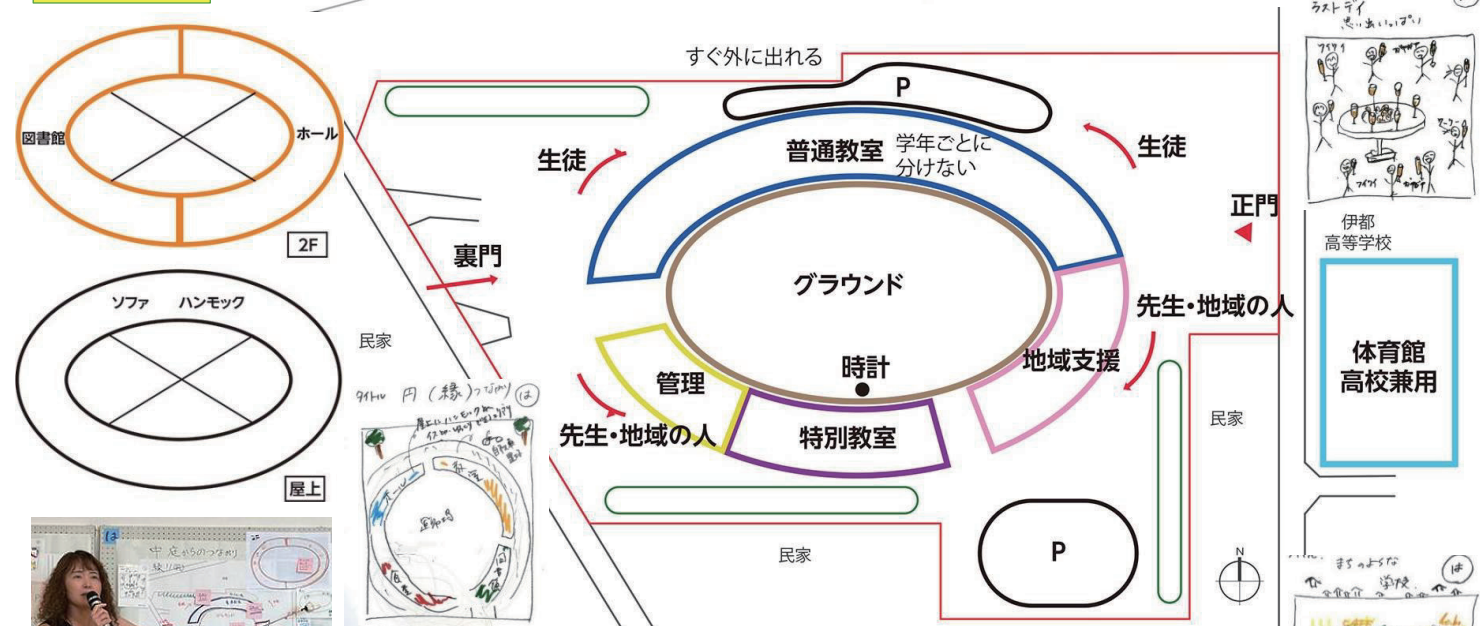
- ・校舎は2階建て。メディアセンターを中心に配置。地域の人が利用するスペースは主に1階。2階は普通教室と、その他の特別教室を配置。
- ・屋上に屋根付き駐車場。バリアフリーPも確保。



- ・正門は東側。西側にも、遅刻した生徒や、賑やかな場所が苦手な生徒がひっそり登校できる小さな出入口を確保。玄関は広く取る。
- ・西側の入口近くに、地域の方が主に運営する畑を設ける。育てた野菜は、調理室で地域食堂に活用。その近くに、水の流れや、散歩に来た人が休んだり、農作業した人がおしゃべりしたりするベンチを配置。
- ・東西の入口に自動販売機と給水機を設ける。
- ・建物は可動式の仕切りで使い方や空間の広さを変えられるようにしたい。
- ・一人ひとりが自分に合った場所を選ぶことができる。
- ・グラウンドは作らず、校舎の周囲にランニングできるトラックを設ける。フットサルサイズのグラウンドで体を動かすこともできる。
- ・校舎2階と伊都高校を屋根付き渡り廊下でつなぐ。

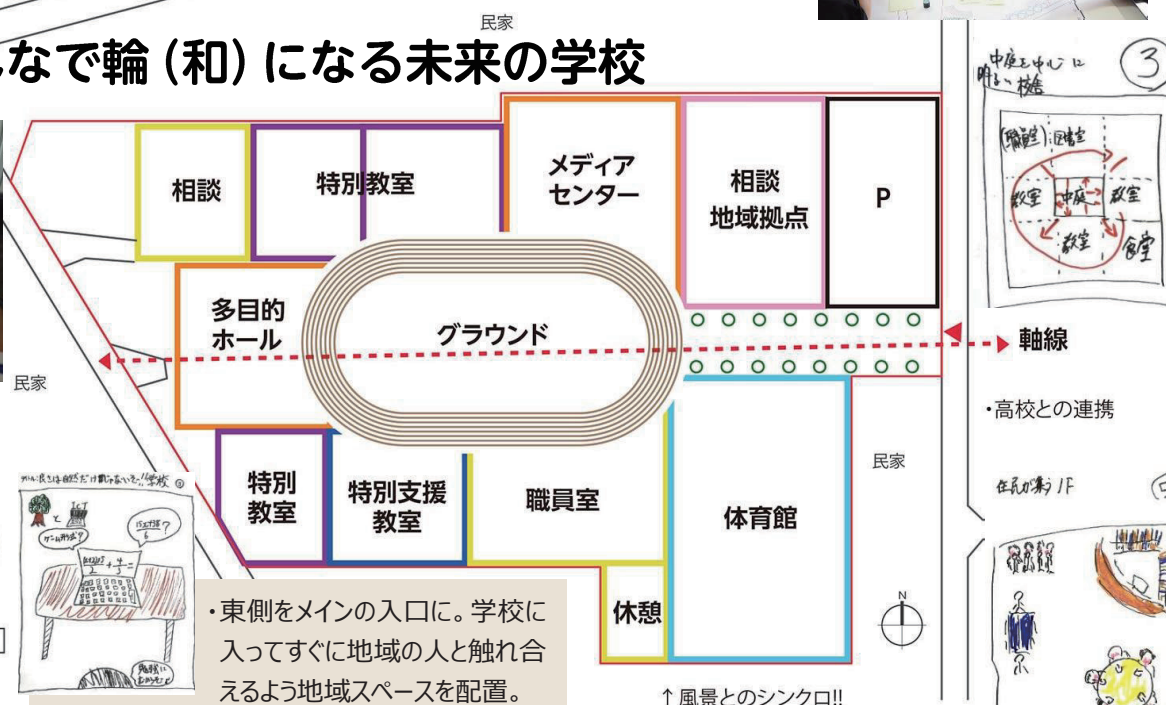


はグループ 中庭からのつながり 縁!! (円)



- ・グラウンドの周囲を校舎が囲む。建物外側はコンクリートの壁でもいいが、内側はガラスやオープンにして、お互いが見えるようにしたい。
- ・2階には図書館とホールを配置。円形の図書館に沿うように丸く階段があって、その周りに本棚があるイメージ。ホールも周囲に階段をつくる。
- ・屋上にはソファやハンモックを置き、ゆっくりしたり、食べたり、告白したりできるスペースに。屋根付きの見晴らしのいい場所にしたい。
- ・正門は東。西の裏門からも登校できる。校舎を囲むように駐輪場を配置。先生や地域の人が利用する駐車場と動線を分ける。
- ・民家のある所には目隠しの植栽を配置。

ろグループ みんなで輪(和)になる未来の学校

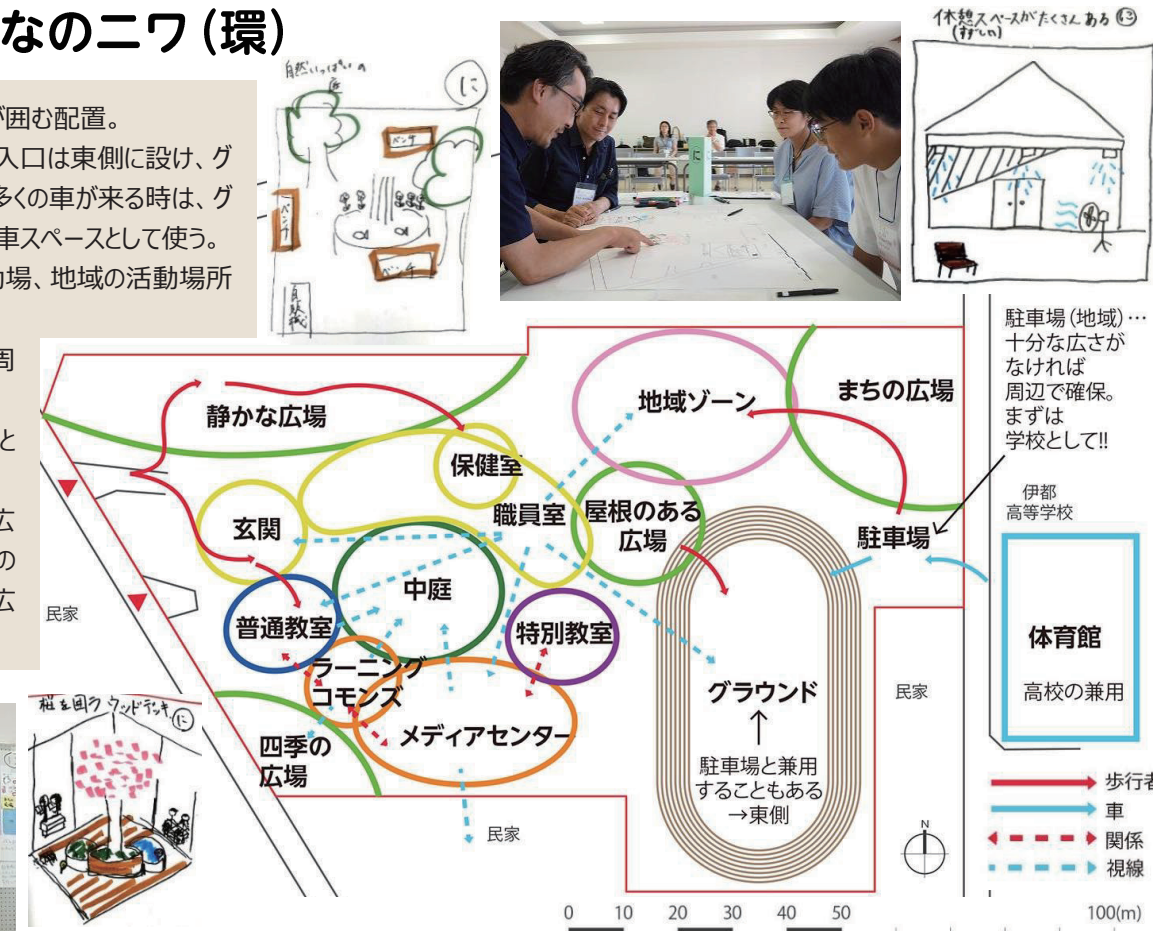


- ・東側をメインの入口に。学校に入っすぐに地域の人と触れ合えるよう地域スペースを配置。
- ・1階には、地域の人でも利用できるメディアセンターや、カフェ的な交流スペースを設ける。2階には普通教室と屋上テラス。
- ・1階の職員室の近くに、先生の休憩スペース。
- ・地域の人に相談する所と、先生と静かに相談できる所をつくる。
- ・敷地中央に運動場。東西の門～多目的ホール～グラウンドへと視線が抜ける。学校と山並み、風景がシンクロする。
- ・体育館は自前で設ける。



にグループ みんなのニワ (環)

- ・中庭を中心にして建物が囲む配置。
- ・正門は西側。車用の出入口は東側に設け、グラウンドも東側に配置。多くの車が来る時は、グラウンドの一部を臨時駐車スペースとして使う。
- ・職員室から、教室、運動場、地域の活動場所などが見渡せる。
- ・メディアセンターからは、周囲の山や景色が見える。
- ・輪のように自由に動くことができる。
- ・「静かな広場」「四季の広場」「屋根のある広場」などいろんな広場があるといい！



駐車場(地域)…十分な広さがなければ周辺で確保。まずは学校として!!

